

ワイヤレスステレオヘッドセット

型名 **HA-S55BT**



* お買い上げありがとうございます。

● ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

☑ ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について、下記アドレスのホームページより、「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと、製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
<http://www3.jvckenwood.com/reg/>



© 2015 JVC KENWOOD Corporation

B5A-1129-00

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

● 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる人への危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険 死亡、または重傷を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの。

警告 死亡、または重傷を負う可能性があるもの。

注意 傷害を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの。

● お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

危険

端子をショートさせない。また、金属製のネックレスやコインなどの金属小物といっしょに携帯または保管しない

火の中に投入したり、加熱しない
高温での充電・使用・放置をしない
発熱や発火、破裂の原因になります。

警告

分解、改造しない
故障、発熱、火災・感電の原因になります。

USBケーブルは確実に差し込む
差し込みが不完全な場合は、発火や感電の原因になります。

ぬれた手で本体や、USBコードをさわらない
発火や、感電の原因になります。

水など、液体を入れたり、濡らしたりしない
発熱や発火の原因になります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
火災ややけど、けがの原因になります。

自転車・自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しない
交通事故の原因になります。

歩行中にご使用になる場合は、周囲の交通に十分注意する
交通事故の原因になります。

注意

湿気やほこりの少ない場所で使用・保管する
発熱や発火、感電の原因になります。

本機を使用するときは、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて使用すると、聴力に悪い影響を与えることがあります。はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。

5℃～40℃以外の場所で使用しない
液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

火のそばやストーブのそば、車内、お風呂場など高温、高湿になる場所で使用したり、放置しない
発熱や発火、破裂の原因になります。

充電中、使用中は毛布や衣類などを本機にかぶせない
発熱や発火の原因になります。

USBケーブルが傷んだり、端子の差し込みがゆるいときは使用しない
発火や感電の原因になります。

保証とアフターサービス

・この商品を家庭用として、取扱説明、接続例、注意書きなどに沿って、適切にご使用されたにもかかわらず、ご購入日から1年以内に故障した場合は、無料で交換いたします。
本書とご購入日のわかる領収書(レシートなど)をご持参のうえ、ご購入の販売店にご相談ください。
・この商品は持込修理対象商品となります。対象商品を当社へ送付した場合の送料はお客様のご負担とさせていただきます。
・本書は日本国内においてのみ有効です。
・本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

お買い物相談や製品についての一般的なご相談
JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87

携帯電話・PHS 一部のIP電話・FAXなどからのご利用は
携帯電話・PHS **0570-010-114** (ナビダイヤル)
一部IP電話 **045-450-8950**
FAX **045-450-2308**
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

主な仕様

●オーディオ

再生周波数帯域 20 Hz～20,000 Hz

●BLUETOOTH

通信方式	Bluetooth 標準規格 Ver.3.0
出力	Bluetooth 標準規格 Power Class 2
最大通信距離	約10 m*1
対応 Bluetooth プロファイル	A2DP/AVRCP/HFP/HSP
対応コーデック	SBC
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式

*1 通信距離は目安です。使用環境により変わる場合があります。

●電源 / 一般

電源	内蔵リチウムポリマー充電電池
電池持続時間	約10時間*2
充電時間	約2.5時間
使用温度範囲	5℃～40℃
質量	157 g(内蔵リチウムポリマー充電電池含む)

*2 使用条件により異なります。

BLUETOOTH プロファイルについて

- ・A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
 - ・AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)
 - ・HFP(Hands-Free Profile)
 - ・HSP(Headset Profile)
- ・本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。Androidは、Google Inc.の商標です。

電波について

・本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
- 分解/改造すること
- 本機の証明表示(Ⓢ)を改変すること

2.4 FH 1

2.4: 2.4 GHz帯を使用する無線機器です。
FH: FH-SS変調方式を表します。
1: 電波と干渉距離は10 mです。
■: 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

本機の使用周波数帯(2.4 GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止(電波の発信を停止)してください。
・そのほか、「他の無線局」に対して有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
・使用可能距離は見通し距離約10 mです。
・鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんで本機とご使用のBLUETOOTH機器を設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
・下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
- 2.4 GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
・本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

Bluetooth® ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、株式会社JVCケンウッドはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。

BLUETOOTHについて

BLUETOOTHは、デジタル機器同士で通信を行うための無線通信規格のひとつです。BLUETOOTHには、通信の用途に応じて定められた「プロファイル」というプロトコル(通信手順)が規定されています。本機が対応している「プロファイル」については、主な仕様(Ⓢ 6 ページ)をご覧ください。

使用上のご注意

- ヘッドホン装着時には、可動部への髪などはさみこみにご注意ください。
- ヘッドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止してください。使用を続けると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。
- 冬場など乾燥した場所では、静電気により耳に刺激を感じることがあります。
- 落としたり、ぶつけたり、強いショックをあたえないでください。
- 本機の近くで携帯電話などをお使いの場合、ノイズが入ることがあります。
- 心臓にペースメーカーを装着している方は使用しないでください。ペースメーカーが、本システムの電波の影響を受けるおそれがあります。
- 病院などの医療機関、医療機器の近くでは本機を使用しないでください。電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。
- 航空機内で使用しないでください。電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。
- イヤーパッドは消耗品です。通常使用や保存した状態でも、経年変化で自然劣化する場合があります。
- ヘッドホン本体が汚れた場合は、水に濡らした布をよくしぼって表面をふいてください。

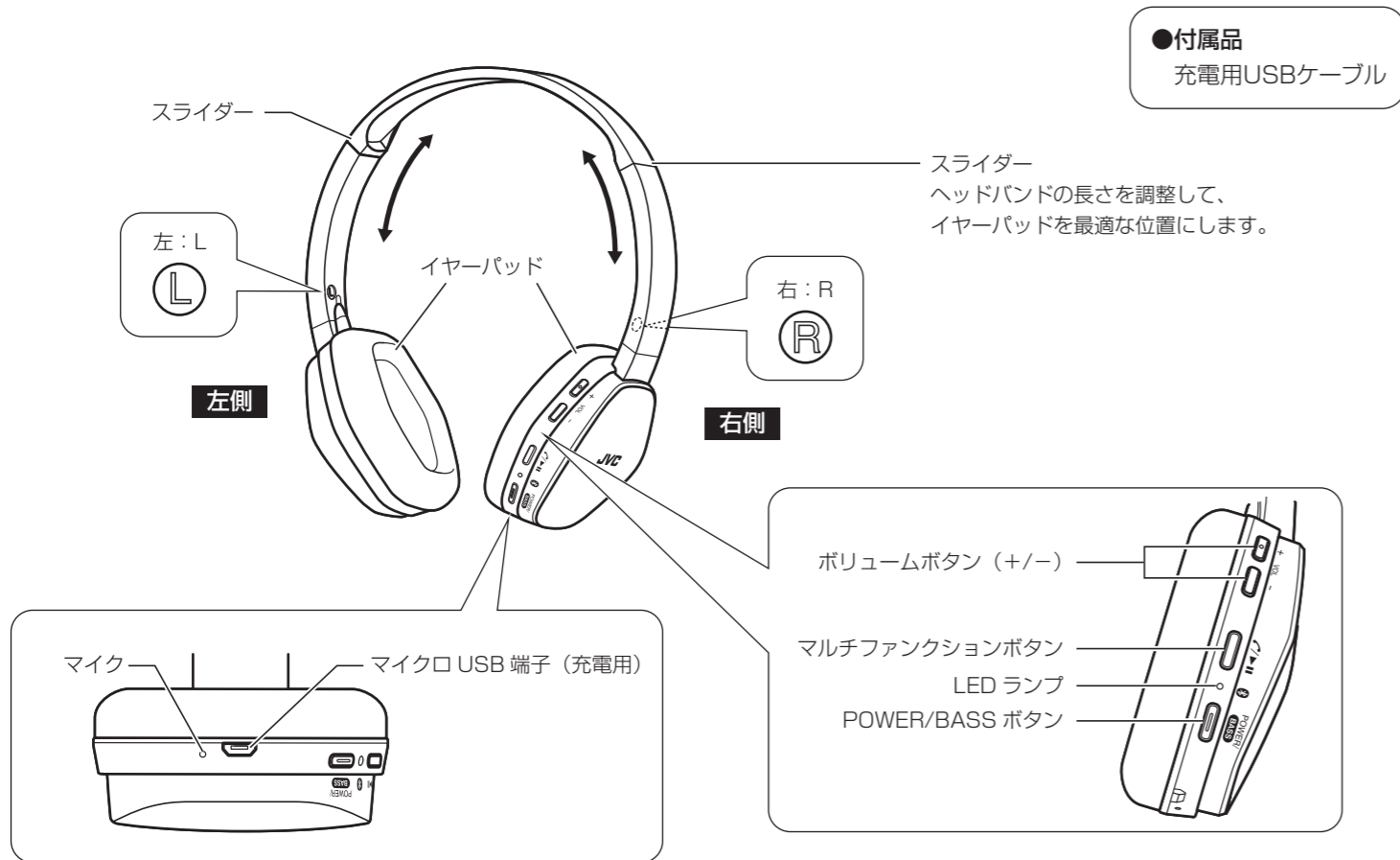
充電式電池のリサイクルについて



本機に内蔵されている充電電池はリサイクルできます。充電電池の取りはずしはお客様自身では行わないでください。本機を廃棄するときは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

Li-ion 00

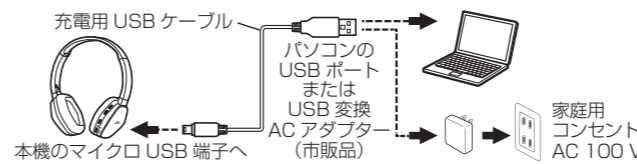
各部の名称



充電のしかた

充電には、付属の充電用USBケーブル以外を使用しないでください。付属の充電用USBケーブルを他機器の充電などに使用しないでください。

- 1 マイクロUSB端子に充電用USBケーブルを接続する
- 2 充電用USBケーブルをパソコンのUSBポート、またはUSB変換ACアダプター(市販品)に接続する
 - ・LEDランプが赤色に点灯し、充電が始まります。充電が完了すると、LEDランプは消灯します。
 - ・充電には約2.5時間かかります。
 - ・充電中は、本機を操作できません。
 - ・パソコンから充電する場合は、パソコン本体のUSBポートからの充電が途中で止まらないよう、パソコンの電源や設定をご確認ください。
 - ・充電後は、すみやかに本機を取りはずしてください。



本機は内蔵型のバッテリーを使用しています。バッテリーの取り外しや交換はできません。

電池残量のお知らせ
電池残量がほとんどなくなると、本機のLEDランプが赤くゆっくりと点滅します。そして4分おきに「プブ」と音が鳴ります。

LEDランプについて
本機LEDランプの点滅・点灯表示で、動作の確認をすることができます。

動作	LED表示(●: LED青色 ●: LED赤色)
機器接続待ち	●.....点滅
ペアリング中	●●●●●●●●.....交互に点滅
機器接続完了	●.....点滅
電池残量わずか	●.....ゆっくり点滅
充電中	●.....点灯

ペアリングする

本機で音楽を聞いたり通話するには、事前にご使用のBLUETOOTH機器(以下、相手機器)とペアリングする必要があります。ペアリングの方法は、相手機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。ペアリング済みの機器と接続するには「電源を入れる(接続する)」(P.13 ページ)をご覧ください。

- 1 本機の電源が切れている状態で、POWERボタンを押し続け(7秒以上)、LEDランプが赤青交互に点滅したら離す(LEDランプの点滅と同時にヘッドホンから「ペアリング」と音声がかかります)
 - ・LEDランプが赤青交互に点滅する前にボタンから指を離してしまうと、その後あらためてボタンを押し続けてもペアリングを開始できません。その場合は、一度電源を切ってから、同様の操作を行ってください。
 - ・5分以内にペアリングしてください。5分以内にペアリングができなかったときは、本機の電源が切れます。

- 2 相手機器の電源を入れ、ペアリングができる状態にする

Androidの場合(例)

「設定」、「無線とネットワーク」の順にタップする
「Bluetooth」がオフになっている場合は、オンにする
つづいて、「Bluetooth設定」、「端末のスキャン」(もしくは準じる項目)の順にタップする

iPhoneの場合(例) 以下のいずれかの手順を参考にしてください。

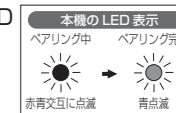
「設定」、「Bluetooth」の順にタップする または、
「設定」、「一般」、「Bluetooth」の順にタップする
上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、オンにする

- 3 相手機器で「S55BT」を選ぶ

本機と相手機器が接続されます。
・ペアリング中に、PINコードの入力を求められる場合があります。そのときは、本機のPINコード「0000」を入力してください。

- 4 「ペアリング サクセスフル」と音声がかかり、本機のLEDランプが青く点滅していることを確認する

ペアリングが完了しました。



マルチペアリング

・本機は最大8台のBLUETOOTH機器のペアリング情報を登録できます。9台目の機器をペアリングした場合、もっとも古い機器のペアリング情報が新たな機器の情報で上書きされます。

電源を入れる(接続する)

- 1 ヘッドホンから「ビババポ」と音が鳴り、LEDランプが青く点灯するまでPOWERボタンを押し続ける(約3秒間)

- ・本機は、前回接続したBLUETOOTH機器に自動的に接続を試みます。接続できた場合は、LEDランプが青く点滅し続けます。
- ・LEDランプが赤く点滅し続けている場合は、本機と相手機器がペアリング、または接続できていません。
- ・ペアリングが完了していない場合は、「ペアリングする」(P.12 ページ)をご覧ください。
- ・ペアリング済みの場合は、手順2に進んでください。

お買い上げ後、初めてご使用されるときは、電源を入れるとLEDランプが赤青交互に点滅して自動的にペアリングを開始します。「ペアリングする」(P.12 ページ)をご覧ください。

- 2 相手機器の電源を入れ、接続できる状態にする

Androidの場合(例)

「設定」、「無線とネットワーク」の順にタップする
「Bluetooth」がオフになっている場合は、オンにする
つづいて、「Bluetooth設定」をタップする

iPhoneの場合(例) 以下のいずれかの手順を参考にしてください。

「設定」、「Bluetooth」の順にタップする または、
「設定」、「一般」、「Bluetooth」の順にタップする
上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、オンにする

- 3 相手機器で「S55BT」を選ぶ

本機と相手機器が接続されます。

- 4 本機のLEDランプが青く点滅していることを確認する

接続が完了しました。

音楽を聞く

本機で音楽を聞くには、事前に相手機器と接続する必要があります。「電源を入れる(接続する)」(P.13 ページ)の手順に従って、本機と相手機器を接続してください。

音楽を再生する / 一時停止する

マルチファンクションボタンを短く1回押すと音楽を再生します。また、再生中にマルチファンクションボタンを短く1回押すと一時停止します。
・スマートフォンなどの場合、音楽再生プレーヤーを起動してから、本機を操作しないと再生を開始しないことがあります。
・本機の電源を入れ、相手機器との接続直後、または相手機器の電源を入れてからの数秒間は、再生操作で音が途切れる場合があります。

次の曲にすすむ / 前の曲へもどる

再生中にマルチファンクションボタンをすばやく2回押すと、次の曲にすすみます。
再生中にマルチファンクションボタンをすばやく3回押すと、曲の頭または前の曲へもどります。

音量を調節する

ボリューム + ボタンを押すと音量が大きくなり、ボリューム - ボタンを押すと小さくなります。
・ボリューム + あるいは - ボタンを押し続けると、連続で音量が変わります。
・音量が最大または最小になると、本機から「プ」と音が鳴ります。
・相手機器の音量もあわせて調節してください。

低音(BASS)を調節する

音楽を再生中にPOWERボタンを短く1回押すと低音機能の入/切が切り換わります。
・電源を入れたときはBASS機能「切」の状態になります。

*相手機器によっては、操作できない機能があります。

通話する

・本機で通話するには、事前にハンズフリーに対応した相手機器と接続する必要があります。
・「電源を入れる(接続する)」(P.13 ページ)の手順に従って、本機と相手機器を接続してください。

電話を受ける

本機から着信音が聞こえたら、マルチファンクションボタンを短く1回押すと音楽を再生中に着信すると、音楽は自動的に停止します。
・スマートフォンなどの機種によっては、スマートフォン側の着信音を変更しても、本機固有の着信音しか鳴らない場合があります。

着信を拒否する

本機から着信音が聞こえているときに、マルチファンクションボタンを約2秒間押し続ける

通話音量を調節する

通話中にボリュームボタンを押すと通話音量が大きくなり、ボリューム - ボタンを押すと通話音量が小さくなります。

本機、スマートフォンの通話切り換え

通話中にマルチファンクションボタンを約2秒間押し続ける

電話を切る

通話中にマルチファンクションボタンを短く1回押すと、音楽を再生中の場合、通話が終了すると、音楽再生が再開されます。
ボイスダイヤル、Siri を起動する
着信中、通話中以外のときに、マルチファンクションボタンを約2秒間押し続ける

*スマートフォンによっては、操作できない機能があります。

電源を切る

ヘッドホンから「ビババポ」と音が鳴り、LEDランプが赤く点灯するまでPOWERボタンを押し続ける(約2秒間)

※電源が切れない、またはハングアップなど動作が不安定な状態になった場合は、一度、本機を充電することでリセットが掛かり、本機が復帰します。

オートパワーセーブ(節電機能)

機器接続待ちの状態が5分続くと、本機の電源が自動的に切れます。

故障かな?と思ったら

症状	対処
電源が入らない	充電をしてください。
ペアリングできない	本機と相手機器を1m以内に近づけて、再度ペアリングをしてください。
相手機器を本機に接続後、すぐに動作しない	相手機器によっては、本機と接続してLEDランプが青くなくても、接続動作の時間差により、すぐに動作しない場合があります。
音楽が聞こえない	・相手機器はA2DPのプロファイル(P.6 ページ)に対応しているか。相手機器の説明書をご確認ください。 ・相手機器で音楽を再生してください。
本機から相手機器を操作できない	相手機器はAVRCPのプロファイル(P.6 ページ)に対応していますか。相手機器の説明書をご確認ください。
通話できない	・相手機器との接続が正常にできているかご確認ください。 ・相手機器はHFPのプロファイル(P.6 ページ)に対応していますか。相手機器の説明書をご確認ください。
音が出ない	・相手機器との接続が正常にできているかご確認ください。 ・本機および相手機器の音量を調節してください。
音が途切れる、または動作する反応が悪い	・スマートフォンなどで複数のアプリケーションが起動していませんか。ご使用にならないアプリケーションを終了してください。 ・本機の電源を入れ、相手機器との接続中、または相手機器の電源を入れてからの数秒間は、再生操作で音が途切れる場合があります。 ・電波を遮ってしまう物、壁、人体が本機と相手機器の間にある場合、音が途切れたり、動作反応が悪くなることがあります。
音がひずむ	・本機または相手機器の音量を下げてください。 ・充電をしてください。
音が途切れる、ノイズ(雑音)が出る	・2.4 GHzの周波数を使用する機器(電子レンジ、無線LAN、コードレス電話など)を本機から離してください。 ・充電をしてください。
充電できない	・パソコンの電源が入っているか確認してください。 ・本機とパソコン、またはUSB変換ACアダプター(市販品)が付属USBケーブルでしっかり接続されているか確認してください。

対応機種

機種によっては操作できない機能があります。スマートフォンなどの対応機種については、当社のホームページをご確認ください。
<http://www3.jvckenwood.com/accessory/support/>

